

## SDGs の推進に係る協定の締結について

### ●背景及び目的

令和 2 年 7 月、本市は内閣府より SDGs 未来都市の選定を受けると同時に提案内容が先進的で他自治体のモデルになるとの評価を受け、自治体 SDGs モデル事業にも併せて選定された。

モデル事業では、地域に雇用を生み稼ぐ仕組みの確立を目指し、雇用のミスマッチの解消に繋げるための新たな産業として、廃車となるハイブリッド車両からリユースする部品を回収し、リマニュファクチャリング（使用済み製品の再生）する「ハイブリッドリユース事業」を地元事業者にて技術指導を行いながら育成し、再製品化した EV（電気自動車）を活用した移動支援の取組みを産学官民連携で推進し、循環型社会の形成を目指すこととしている。

事業推進にあたっては、モデル事業のステークホルダーでもあり、当該技術を開発しそのノウハウをマニュアル化した豊田通商（株）協力の下、地元事業者及び地元大学の技術の習得に向け連携を図る必要があるが、先般、同社より連携協定締結の提案があり、同社が持つリソースを最大限活用できる体制を構築することで、モデル事業のより一層の推進と地域の新しい産業の創出が期待できる。

以上のことから、相互の連携・協力関係を深め、地域に雇用を生み稼ぐ仕組みの確立と SDGs の達成及び石巻市 SDGs 未来都市の実現を目指していくもの。

### ●これまでの経過

令和 2 年 1 2 月 1 日 豊田通商（株）と SDGs の推進に係る協定の締結

### ●主な内容

#### 1 連携事項

- (1) 地域に雇用を生み稼ぐ仕組みの構築に関する事
- (2) 未来技術の活用及び IT 人材の育成に関する事
- (3) 地域コミュニティによる支え合いの推進に関する事
- (4) 低炭素社会の実現に関する事
- (5) その他、SDGs の普及啓発及び達成に向けた取組に関する事

#### 2 協定締結期間

協定締結の日から令和 3 年 3 月 3 1 日まで（その後は 1 年ごとに更新）とする。

# 2020年度自治体SDGsモデル事業提案概要(提案様式3)

自治体SDGsモデル事業名: コミュニティを核とした 持続可能な地域社会の構築

提案者名: 宮城県石巻市

取組内容の概要: 公共交通と地域カーシェアリングを結び付ける地域交通情報アプリケーション(ローカル版MaaS)を活用し、グリーンスローモビリティを地域の支え合いによる新たな移動手段として確立する。また、未来技術を搭載したAIロボットを高齢者と地域を繋ぐ新たなコミュニケーションツールとし、高齢者の孤立防止等を図る。

